

2019年2月15日

山大生・山大卒業生・山大教職員が公開で発表する
「修論卒論発表会（饗宴）」（第2回）を開催いたします

全体テーマ「『人間』を考える」

この会が山大で哲学・文学・芸術・宗教学を学んだ人たち、あるいは市民で哲学・文学・芸術・宗教学を愛好する人たちの生涯の発表の場になると共に、そういう方々の「哲学同窓会」の場になればと思います。地域が学生・教員・学者を育て、その研究成果を地域で共有し育てて行く。そのような仕方で地域に「哲学する」文化が育っていく。そんな夢が実現しつつあります。これはまた、かつて大学が市の中心にあったとき、市民が学生を愛し、学者を大切にし、見守った、そうした関係の再現を目指す、市民の側からの提案でもあります。

私たちがその身に生まれた「人間」。しかし私たちは自分が「人間」であることをあたり前のように思い、「人間とは何か」を問うことがなかったのではないのでしょうか。そうして目の前の目的の実現や目標の達成に忙しく、ただただ「人間であること」が過ぎ去ってきた。しかし悲しみも喜びも「人間」の身の上で起ることです。そこで私たちは問わざるを得ない、「人間とは何か」と。今回全体テーマを標記のように定め、皆さんと共に「人間」を考えて行きたいと思えます。

加藤氏は「私と汝」から、大賀氏は「生きる意味」から、矢迫氏は「逃れられないものへの対峙」から、唐氏は「真の自己と偽我との関係」から、植田氏は「情念に酔いしれる人間」から、井上氏は「性的虐待と回復」から、田本氏は「脱中心としての学び」から、それぞれ「人間」に迫っていきます。

多数の御来場をお待ちしております。

開催日：2019（平成31）年3月2日（土曜日）

会 場：菜香亭 山口市天花 1-2-7（駐車場あり）

時 刻：午前 10:15 開会、午後 16:45 閉会

主 催：山口西田読書会

プログラム

全体テーマ「『人間』を考える」

発表 20 分、質疑応答 25 分

10:00	開場
10:15	開会
10:20～11:05	加藤智之
11:05～11:50	大賀百合子
11:50～12:35	矢迫野乃佳
12:35～13:25	昼食
13:25～14:10	唐露
14:10～14:55	植田翔
14:55～15:10	休憩
15:10～15:55	井上瞳
15:55～16:40	田本正一
16:45	閉会

発表者（登壇順）

加藤智之	山口大学教育学部社会科教育選修 4 年生
大賀百合子	山口大学教育学部社会科教育選修 4 年生
矢迫野乃佳	山口大学教育学部国語科教育選修 4 年生
唐露	山口大学教育学研究科
植田翔	広島大学教育学研究科（山口大学教育学部卒）
井上瞳	大阪大学大学院人間科学研究科（山口大学人文学部卒）
田本正一	山口大学教育学部教員（教育学）

発表者「タイトル」（参考文献、参考にした思想家）

加藤智之	「私は私をどのようにして知るかー私と他者の関係から考えるー」 （西田幾多郎『私と汝』）
大賀百合子	「生きる意味はあるのかー意味付けの世界と概念の探究ー」 （ニーチェ、フランクフル）
矢迫野乃佳	「中島敦『古譚』論ー「逃れられないもの」への対峙ー」 （中島敦『古譚』）
唐露	「『善の研究』における自己の問題ー真の自己と偽我との関係を

- めぐってー」(西田幾多郎『善の研究』)
- 植田翔 「情念に酔いしれる人間ードナルド・トランプはなぜ人々を魅了するのー」(シヤンタル・ムフ『左派ポピュリズムのために』)
- 井上瞳 「人間を考えるー性的虐待と回復をめぐってー」(ジュディス・ハーマン『心的外傷と回復』)
- 田本正一 「学校教育における主体的な学びについての検討ー脱中心化としての学びへの転換を目指してー」(フーコー『監獄の誕生』、レイヴ、ウエンガー『状況に埋め込まれた学習』)

総合司会

佐野之人 山口大学教育学部 (哲学)

【お問い合わせ】

山口西田読書会

電話: 083-922-0753

電子メール: info@yamaguchi-nishida.org

担当: 岡部

【所在地】

菜香亭

山口市天花 1-2-7

駐車場あり

山口西田読書会

山口市下堅小路45番地

(以上)